



建築家・磯崎新が設計した建物

子どもも大人も楽しめる 「群馬県立近代美術館」



展示室

残暑が和らぎ、風に涼しさをを感じる頃、ほぺたんがやって来たのはこちら。高崎市郊外に広がる県立公園「群馬の森」(現「アイ・ディー・エー 群馬の森」)内に、1974年に開設された美術館です。コレクションは、福沢一郎、山口薫、オノサト・トシノブら郷土の作家をはじめ、ルノワールやモネといったヨーロッパ近代美術、日本美術、日本と中国の古美術、現代美術など幅広く収蔵。その中からシーズンごとに作品を入れ替えて展示する「コレクション展示」と、テーマに沿って集めた他館の作品を展示する企画展を年に数回開催し、いつ訪れても豊かな芸術にふれることができます。

美術ファンはもちろん、幅広い層が楽しめるのも魅力です。学芸員の解説を聞きながらコレクション展示作品を鑑賞できる「サンデー・ギャラリートーク」では、その場で学芸員に質問もでき、知識がなくても作品世界を楽しめます。毎月第2・4木曜午前中は、親子優先の時間帯「ファミリータイム」。小さい子どもと一緒に気兼ねなく鑑賞できます。幼児から参加できる「こどもアートツアー」では、ゲームやお話をしながらアートを楽しくすると聞いて

て、ほぺたんはワクワク。

「美術鑑賞という何だか難しそうですが、子どもたちは『何これ、変!』『これなら描けるよ!』などと自由に表現して楽しんでいきます。大人の方も子どものように、まずは感じるままに作品を楽しんで見ていただけたら」と学芸員の中沢さん。



「群馬の森」で森林浴中

森の中にある美術館ならではの楽しみ方も教えてくれました。「美術鑑賞の前後に公園内を散策するのもおすすめです。季節ごとに移ろつ自然の美しさも味わえますよ」

開館50周年を記念し、今秋には「群馬からみる日本の美」をテーマに企画展を開催。群馬県の文化振興にも大きく貢献した高崎市の実業家、井上房一郎が同館のために収集・寄贈した作品群「戸方庵井上コレクション」の特色ある作品と、全国各地から集めた日本美術の逸品にも出会えます。



「こどもアートツアー」の様子



企画展展示作品:尾形乾山「富士山図」

江戸時代 群馬県立近代美術館 戸方庵井上コレクション (通期)



群馬県立近代美術館
住所:高崎市綿貫町992-1
TEL:027-346-5560
開館時間:9:30~17:00(入館16:30まで)
休館日:月曜
企画展:「開館50周年記念
群馬からみる日本の美
戸方庵井上コレクション5つの扉」
9月21日(土)~11月10日(日)開催

編集だより

美術館近くの住宅街で見つけた素敵な洋菓子店。オーナー・パティシエはフランス・アルザスで修業し、帰国後に地元で開業したそう。宝石のようなケーキとコンフィチュールに使う果物は、ほとんどが群馬県産。ご実家で栽培している無農薬木苺のコンフィチュールが絶品でした!



カプリス ドゥ モワ
Caprice de moi

住所…高崎市下滝町566-1
TEL…027-335-6058
営業時間…11:00~18:00
(ケーキ完売次第終了)
定休日…月・火・水曜